

清掃ボランティアで地域を元気に！

法勝寺川土手清掃 ボランティア活動

日時:令和6年3月16日(土)

町内のボランティア団体
さん等と一緒に法勝寺川
土手の清掃を
行いました。



TOPIC

☆令和5年度事業報告 P2

☆令和6年度事業計画、収支予算 P4

☆地域福祉委員 P6

☆令和5年度決算報告、貸借対照表 P3

☆令和5年度県民総合福祉大会 P5

☆子供服リユース P6

etc

南部町社会福祉協議会



☞ 子ども服譲渡会の予定は
こちらでチェック

本 所：法勝寺331-1

総合福祉センターしあわせ内

0859-66-2900

会見支所：浅井938

総合福祉センターいこい荘内

0859-64-3515

令和5年度 事業報告

南部町社会福祉協議会では、本年度当初に理事、監事の役員が改選され、3名の理事及び1名の監事が交代し、新たに入口会長を中心とした体制によりスタートいたしました。

高齢で交通弱者の買物の不便さ解決の一助として本会が実施した「買物支援」事業は、本年度末をもって2か年の実施計画を終了することとしました。

「買物支援」事業は、地域の生活課題である移動手段の確立・確保に向けた議論の促進や地域住民の共助意識の醸成を目的に実施してまいりました。加えて、「地域福祉推進計画」の進展を図る中で、各地域振興協議会や行政とともに地域における共助交通のあり方、新たな移送サービスの体制構築に向けた協議検討を重ねながら支え合いの意識の発揚を促してまいりました。

地域における共助交通の移行を目指し実施した当該事業は、結果的に地域における新たな移送サービス体制の具現化はかないませんでした。行政や地域振興協議会と関係機関に、地域における重要な福祉的解決課題として共有し、移動手段の必要性と既存資源の有効活用への議論を促したことは一定の目的と役割を果たしたものと総括をするところです。

一方、新型コロナウイルス感染症の拡大により、生計に影響を受けた方への支援施策の一環として実施された「コロナ特例貸付」については、令和5年1月から償還が始まったことに伴い、本年度、県社協から「生活福祉資金特例貸付フォローアップ支援業務」を受託し、担当職員の配置を行い、償還免除者や償還が困難な方など特に支援が必要な借受者に対しての関わりを強化し、生活再建や自立に向けた継続的な相談支援等を行っているところです。

それぞれの地域振興協議会では地域環境や特性等が異なる中で、地域の生活課題、福祉課題を発見し対応、解決すべく福祉コーディネーターや地域推進事務局会議が配置、設置され、地域のつながり再構築への議論と取組みが進んでいます。

本会は、とりわけ地域福祉活動推進の原動力と位置付けられる地域振興協議会と地域生活課題を共有し、行政や様々な関係機関、関係者と連携しながら「南部町地域福祉推進計画」に基づく福祉活動、福祉サービスを提供してまいりました。引き続き、一人でも多くの住民に笑顔が提供できるような事業を推し進め、本会事業の活動を通じて地域の、ひいては南部町の活性化と維持発展に資する重要な役割を担い続けてまいります。

令和5年度決算 資金収支計算書

(自) 令和5年4月1日 (至) 令和6年3月31日

(単位：円)

収 入		支 出	
会 費 収 入	3,255,000	人 件 費 支 出	43,206,123
寄 付 金 収 入	2,158,500	事 業 費 支 出	3,809,704
補 助 金 収 入	28,393,405	事 務 費 支 出	7,955,792
受 託 金 収 入	22,555,300	そ の 他 の 支 出	2,477,144
事 業 収 入	1,822,777	共同募金助成金事業費	1,062,965
受取利息配分金収入	9,374	助 成 金 支 出	3,869,400
そ の 他 の 収 入	2,004,081	負 担 金 支 出	142,500
長期貸付金回収収入	125,694	長 期 貸 付 金 支 出	60,000
積立資産取崩収入	2,366,000		
収入合計	62,690,131	支出合計	62,583,628

貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位：円)

会計名	資産の部		負債の部	
一般会計・公益事業特別会計合算	流動資産	84,021,792	流動負債	13,990,993
	現金預金	83,925,641	事業未払金	8,954,621
	未収金	50,331	未払費用	1,059,224
	仮払金	45,820	職員預り金	876,021
			賞与引当金	3,101,127
			負債合計	13,990,993
	固定資産	54,021,906	純資産の部	
	基本財産	2,000,000	基本金	2,000,000
	その他の固定資産	52,021,906	国庫補助金等特別積立金	26,811,117
	土地	3,500,000	国庫補助金等特別積立金	26,811,117
	建物	46,937,255	次期繰越活動増減差額	95,241,588
	車両運搬具	1,364,250	次期繰越活動増減差額	95,241,588
	器具及び備品	42,101	(うち当期活動増減差額)	-7,052,740
	ソフトウェア	88,000		
	投資有価証券	1,000		
	長期貸付金	20,000		
	長期前払費用	69,300	純資産の部合計	124,052,705
	資産の部合計	138,043,698	負債及び純資産の部合計	138,043,698

令和6年度事業計画

重点目標

- ①地域福祉推進計画の促進
 - ・福祉活動促進のための協議の場づくりの支援
 - ・地域と連携した相談機能強化にむけての取組み
 - ・地域における福祉学習の推進と担い手づくりの発掘と育成
- ②ボランティアセンター（災害ボランティアセンター）の機能強化

主な実施計画

1. 法人運営事業

- (1) 法人組織の基盤づくり
- (2) 社協活動基盤強化への取組み
- (3) 広報啓発活動の実施

2. 地域福祉推進事業

- (1) 地域福祉ネットワーク活動
- (2) 福祉活動促進のための基盤強化と活動支援事業
- (3) いきいきサロン活動支援事業

3. 生活相談支援事業

- (1) 総合相談事業の実施
- (2) 福祉資金貸付相談の実施
- (3) 日常生活自立支援事業の実施
- (4) 成年後見制度の推進
- (5) 生活困窮者自立相談支援事業の実施
- (6) 生活支援コーディネーター設置事業の実施

4. ボランティアセンター事業

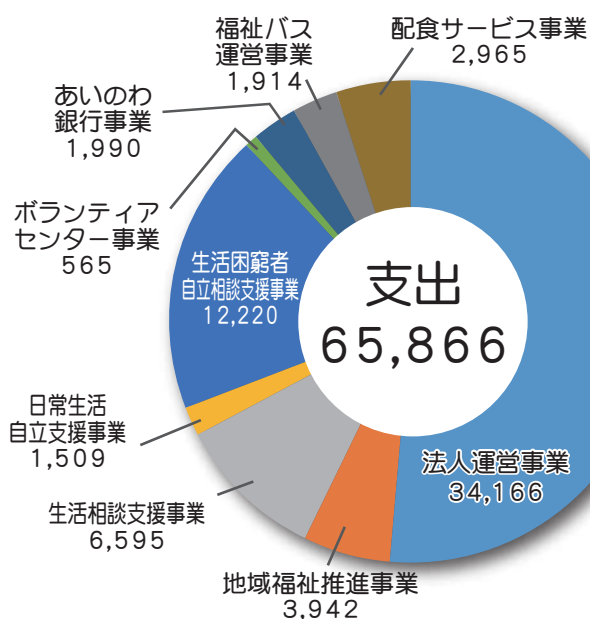
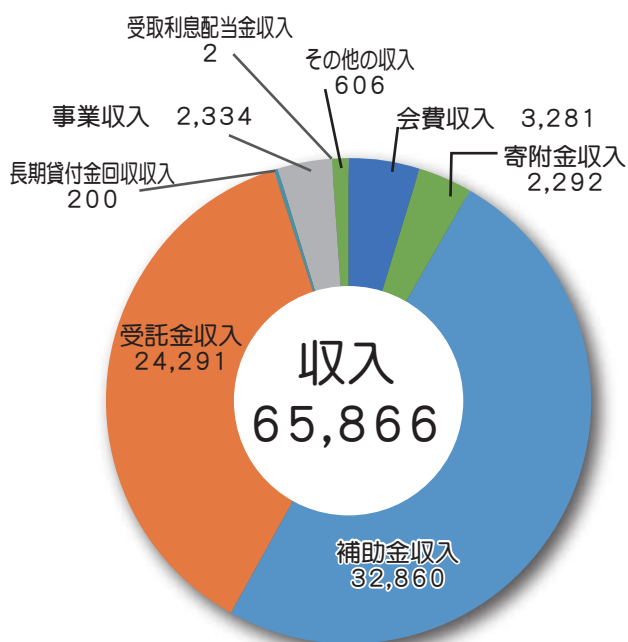
- (1) 福祉教育関連事業
- (2) ボランティアセンター機能の充実
- (3) あいのわ銀行の運営

5. 地域生活支援事業

- (1) 配食サービスの実施
- (2) 福祉バスの運営

令和6年度収支予算

(単位：千円)



令和5年度 県民総合福祉大会

令和5年8月31日（木）、県民総合福祉大会が倉吉未来中心で4年ぶりに開催され、福祉活動功労者の表彰式が執り行われました。県内の福祉関係者らが一堂に会し、本町からは民生委員、受賞者の皆さん、社協役職員など17名が参加しました。

本会が推薦し受賞された皆様をご紹介させていただきます。永年にわたる福祉活動に対しまして、心から感謝申し上げます。

《鳥取県知事表彰》

ボランティア功労

氏名	所属
三嶋 多恵子	南部町赤十字奉仕団

受賞おめでとうございます



南部町より参加した皆さん

《鳥取県社会福祉協議会会長表彰》

ボランティア功労

氏名	所属
仲田 春美	南部町赤十字奉仕団
片山 公恵	地域福祉委員（東西町1区）
船田 東男	地域福祉委員（長田）

社会福祉協助者

氏名	功績
藤友 裕美	南部町社会福祉協議会会長として会の運営、地域福祉活動の推進に尽力

（敬省略）

2024年度手話奉仕員養成講習会 【入門編】募集のご案内

受講申込先・問合せ先

〒682-0822 倉吉市葵町 724-15

鳥取県中部聴覚障がい者センター

TEL：0858（27）2355 / FAX：0858（27）2360

担当：高塚・深田（application@torideaf.jp）

きこえない・きこえにくい人のコミュニケーション支援を行う手話奉仕員を養成するため、講習会を開催します。

内容

厚生労働省手話奉仕員養成カリキュラムに準じて実施

（1）実技 （2）きこえない人等に関する講義

対象

きこえない・きこえにくい人の社会参加に理解と熱意を有する方（高校生以上）。

日本語で日常会話ができ、手話言語の学習経験がない方等。

とき・ところ・定員

会場	受講期間	会場	日時	定員
西部会場	2024年9月5日 ～2025年1月30日 毎週木曜日（21回）	米子コンベンションセンター （米子市末広町294）他	19：00 ～21：00	40名

受講料 2000円（テキスト代別途）

受講申込方法及び申込期限

◎受講申込方法

郵送：手話奉仕員養成講習会受講申込書の封筒に「入門編受講申込書在中」と赤で記入し、裏面に必ず自分の住所・氏名をご記入ください。

FAX：FAX送信後、問合せ先へ確認の電話をしてください。

申込フォーム：当協会ホームページまたは、案内申込書記載のQRコードからアクセス可能。

定員（40名）を超えた場合は抽選とさせていただきます。ご了承ください。

◎受講申込締切 2024年8月21日（水）必着



譲渡会開催レポート

令和6年6月8日（土）、キナルなんぶにて「子ども服・用品譲渡会」を開催しました。今回は、会場内に親子で楽しめる“eスポーツ体験コーナー”や、“フードドライブカフェ”も用意し、多くの方にご来場いただきました。



譲渡会運営は社会福祉法人における公益的な取り組みとして、祥和会・伯耆の国様にご協力いただきました。



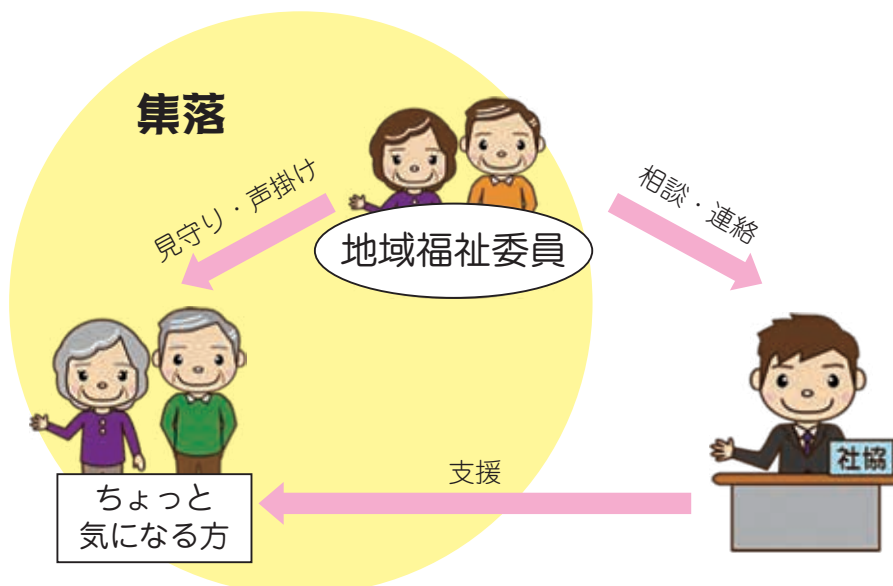
赤十字奉仕団さんには、お子さんと遊んだり、抱っこしていただく等、大変お世話になりました。

開催にあたり、たくさんの服・用品の提供にご協力いただきありがとうございました。
次回の譲渡会は秋頃の開催を予定しています♪



地域福祉委員さん！よろしくお願いします！

各集落の区長さんからの推薦を基に、地域福祉委員さんを委嘱させていただきました。集落でちょっと気になる方や心配な方への見守りや声掛け、社会福祉協議会等へ繋げる事が主な役目です。また、集落によってはいきいきサロンなどの集いの場や、地域によっては地域振興協議会の事業等にも関わって頂いています。地域福祉委員さんは地域の皆さんと社会福祉協議会を繋げる「つながりサポーター」です。



レク用品紹介

町内の福祉活動の支援の為に各団体へレクリエーション用品を貸出しします。どうぞご利用ください。



ディスクゲッター



輪投げ



ラダーゲッター



ボーリングセット



モルック



スカットボール



釣りっこゲーム



カローリング



大型
だるまおとし



ニチレクボール
(室内ペタンク)



大型ジェンガ

※事前のご予約をお願いします。
※貸出期間は原則5日間です。

その他用品等、お気軽にお問い合わせください。

南部町社会福祉協議会 TEL：66-2900



ありがとうございました



(令和6年2月1日から令和6年5月31日受付まで)

頂戴しました寄付金は、地域福祉委員の活動費・いきいきサロン活動助成金・福祉バス運営経費・配食サービス事業など福祉活動の財源として活用させていただいています。

香典返し

(敬称は省略させていただきました。)

寄付者名	集落名	故人名	金額
中井修平	いずみ	比呂美	金一封
藤原 宰	与一谷	康則	金一封
船越祐二	金田	澄江	金一封
田子勝利	境	義雄	金一封
北尾知恵美	原	越江	金一封
森下亜紀	三崎	富田博明	金一封
赤井芳子	朝金	在子	金一封
小原美恵子	下阿賀	雅則	金一封
前田 勇	馬場	かね子	金一封
井田明美	上野	貢	金一封
杉村啓一	東西町4区	幸巳	金一封
神田満子	縄平	頼田満喜子	金一封
小林弘幸	天萬4番組	清一	金一封
高倉民夫	東西町1区	紀美子	金一封
野口洋子	谷川	葉子	金一封
福岡庄次	倭	歌子	金一封
畠 稔明	清水川	延子	金一封
細田賢二	市山	野口時代	金一封
朝日輝美	円山	るみ子	金一封
中村繁英	いずみ	高英	金一封
雑賀正志	高姫	澄江	金一封
赤井重範	朝金	菊枝	金一封
高木正吾	馬場	節夫	金一封

寄付者名	集落名	故人名	金額
長尾 保	入蔵	篤子	金一封
篠村英明	朝金	新一	金一封
足立京子	東西町2区	篤郎	金一封
藤原昭伸	鍋倉	克巳	金一封
恩重和雄	法勝寺7区	和子	金一封
伴藤 均	北方	榮	金一封
福岡要司	倭	庄次	金一封
遠藤真治	早田	武久	金一封
森岡紀子	坂根	重信	金一封
潮 勝巳	天萬2番組	知明	金一封
須山賢郎	上阿賀	静枝	金一封
権代 正	天萬5番組	眞都枝	50,000
伴藤友昭	北方	幸子	金一封
坂田隆志	東西町3区	小早川清美	金一封
野口利之	鶴田	共子	金一封
板 義道	三本木	利喜夫	金一封
北尾幸生	原	勝	金一封
遠藤 宏	江原	恵美子	金一封
岩田典弘	西原	リカ	金一封

見舞い返し

寄付者名	集落名	金額
岡田篤幸	高姫	金一封

◎ご寄附の際に、広報紙への掲載を同意された方のみ載せています。
◎寄附金額等の記載につきましては、寄附者ご本人の意思によるものです。

【書獣】

編集後記

夜間米子方面から南部町に車で帰宅中、旧国道の吉谷付近でいきなり前方から向かってくる物体が、あっ、と思った瞬間にドスン、かなりの衝撃を残してイノシシが過ぎ去って行きました。

猪は警戒心が強く、昔は人里まで下りてくることはほとんどなかったようです。しかし、里山の人口減少、高齢化、生活環境の変化等により人間の気配が薄れた地域では、野生動物の生息域と人間の生活圏内の境界線がとも曖昧になってしまいました。そのため農村だけではなく、平野部・市街地にも害獣が出没するようになってしまっている様です。

今はAIの進化が凄まじく、将来には動物との会話が可能な時代も訪れると期待しています。そうなると猪さんに余分な食物を分けてあげ、勝手に農地を荒らしたり人に害を与えない行動もお願いできます。

人と野生動物が適度な距離間で快適に暮らせる環境になれば、理想的な世界となるでしょう。

(N・K)

